

# Management Club Report

Dec.2020/Vol.216

## Monthly Opinion 《幸福な歯科医院の幸福な人々》

2020年、語呂の良いニイゼロニイゼロというゾロ目の年は、世界中のアスリートが集い技と力を競い合うオリンピックイヤーとなるはずでしたが、世界に拡大した感染症との戦いの年となってしまう、戦争にも匹敵するほどの死者が出るなど世界中に悲劇を巻き起こしています。一方、そのお陰と言っては語弊がありますが、COVID19を共通の敵として世界中が一致協力して戦おうという姿勢が見えたことは歓迎すべきことなのかもしれません。発生源を巡っての確執や、ワクチンの争奪戦、或いは富裕層と貧困層の差の拡大などが取り沙汰されてはいるようですが、医学情報の交流が深まり、共に感染症を克服しようとの動きは、この地球に住む同じ人類として世界平和を望む精神に基づいていることに違いはないでしょう。

歯科医院におきましても院内の結束力が高まる方向に動いたことは多くの現場で感じることができました。私どもが年間の活動テーマとして掲げた「幸福度の向上」に向けた取り組みは、社会全体が幸福感とは程遠い情勢が続いているにも拘らず、テレワークといった遠隔勤務とは無縁の歯科医院において、院長スタッフ間やスタッフ同士の相互尊重を深めることが職場での幸福度向上に繋がることを実感し始めてくれたように思えます。

今年最後の月となりましたので、一応の区切りをつける意味で幸福度研究の総括をし、新しい年の新たなテーマにつなげて参ります。

### 1

### 結論-1 「幸福度はお金の使い方決まる」

#### 上辺だけで理解した気になっていた反省

「幸福度の向上を目指す」ことをテーマにして1年間、多くの歯科医院の協力の下、幸福度調査を行ってきた中で、幾つか本も読んできましたが、『地位財』『非地位財』という新しい言葉に出会いました。地位財とは『カネ』『モノ』『地位』といった「他人との比較によって得られる喜び」で、非地位財とは『心』『安全』『健康』という「他人が持っているようがいまいが関係なく、自分自身が得られる幸せ」であると、セミナー等でサラッと伝えてきました。

しかし、間違いではないのですが、これだけで済ませてしまうのは、人間の幸福という重みのあるテーマを考える上ではあまりにも軽くて薄っぺらな感じがしておりました。何だか受験参考書にある「直前のまとめ」的な一般解答のような感じがしていたのです。